小林愼太郎



教授

KOBAYASHI, Shintaro

所属…環境学部 環境学科 大学院 環境情報学研究科環境情報学専攻(社会環境学領域)

■研究者略歴

1972 (昭和47) 年 3月	京都大学農学部農業工学科卒業
1974 (昭和49) 年 3月	京都大学大学院農学研究科農業工学専攻修士課程修了
1974 (昭和49) 年 4月	京都大学農学部農業工学科助手
1983 (昭和58) 年 6月	京都大学農学部農業工学科助教授
1989 (平成 元) 年 5月	京都大学大学院農学研究科熱帯農学専攻助教授
1991 (平成 3) 年 7月	スイス連邦工科大学客員研究員(~ 1992年7月)
1995 (平成 7) 年 4月	京都大学大学院農学研究科地域環境科学専攻助教授
1997 (平成 9) 年 4月	京都大学大学院農学研究科地域環境科学専攻教授
2002 (平成14) 年 4月	京都大学大学院地球環境学堂教授
2013 (平成25) 年 4月	鳥取環境大学環境学部教授·大学院情報学研究科環境情報学専攻教授

■取得学位

農学博士 (京都大学)

■専門分野

地域計画学, 農村計画学, 地域環境工学

■現在の研究テーマ

- ・地域資源利用・管理・地域環境管理に関する研究
- ・途上国の農村・地域開発に関する研究
- ・土地利用計画に関する研究

■所属学会

農業農村工学会, 農村計画学会

■研究等活動

- ·農村計画とGIS, 地理情報システム学会編『地理情報科学事典』(共著)、2004年、朝倉書店
- フィールドワークの新技法(共著)、2000年、日本評論社

- Vulnerability Assessment of Mt. Makiling Forest Reserve to Climate Change Using a Geospatial-based Environmental Vulnerability Index」(共著)、2011年、『USM R & D Journal Vol. 19, No.2
 ・「地域特性と地域単位に着目したソーシャル・キャピタルの形成量の地域差に関する分析 -結合型・橋渡型の信頼の地域間比較を通じて
- -」(共著)、2011年、「農村計画学会誌」30巻論文特集号
- 「ラオス南部における森林政策による焼畑農業への影響」(共著)、2011年、『システム農学』27(1)
- 「Development of a Geospatial-based Environmental Vulnerability Index for Watersheds to Climate Change in the Philippines」(共著)、2010年、『USM R & D Journal』Vol. 18, No.2
- ・「富士山における山小屋トイレ維持管理費確保問題 総合パフォーマンス評価による自己処理型トイレ選定法とCVMを用いた入山料WTP調査-」(共著)、2009年、『環境情報科学論文集』23 ・「一般的信頼と地域内住民に対する信頼の主観的健康観に対する影響の比較」(共著)、2009年、『環境情報科学論文集』23
- · [Effects of topography on the construction and efficiency of earthen weirs for rice irrigation in Northeast Thailand] (共 著)、2009年、「Paddy and Water Environment」7(1)
- ・「芸術を用いた地域づくりにおける住民意識に関する要因の分析 -大地の芸術祭 妻有トリエンナーレを事例として」(共著)、2008年、 『環境情報科学論文集』22
- 「体民によるアートプロジェクトの評価とその社会的要因 -大地の芸術祭 妻有トリエンナーレを事例として-」(共著)、2008年、『文化経済学会(日本)・文化経済学』第6巻、第1号
- 「タンザニア南西部ムボジ県における木炭生産と土地利用変化」(共著)、2006年、『農村計画学会誌』25巻論文特集号

【総説等】

- ・「降雨による地下水涵養機能とその評価」(共著)、2011年、『畑地農業』 636号・「世界が注目するブータンモデル」、2011年、『科学』 第81巻第6号、岩波書店
- ・「タンザニア農村の持続可能な発展」、2005年、『Earthian』232号、地球環境財団

■社会貢献活動

- ・国際協力事業団タンザニア国ソコイネ農業大学地域開発センタープロジェクト国内委員会委員長(2003年5月~2004年4月)
- ·京都市公共事業再評価委員会委員長(2003年4月~2005年3月)
- ・農林水産省近畿農政局農業農村整備事業等補助事業評価第三者委員会委員長(2006年12月~2009年3月)